

区民のくらし第一

ねばり強く
くり返し

提案、前進

日本
共産党



区民要求実現へ奮闘する11名の足立区議団

子どもの医療がさらに安心して受けられるようになりました

2004年度予算を審議する第一回定例議会が開かれました。鈴木区長は新年度予算を「安心と未来を育む予算」としていますが、実際は区民に痛みと負担を強いる予算となっています。日本共産党区議団は区民のみなさんの要望を盛り込んだ「予算組みかえ案」を提出し、奮闘しました。区民要望が、区政を動かす大きな力となり、議会の論戦と結んで次々と実現しています。

足立区もついに、五歳以上につけられていた乳幼児医療費助成の所得制限が4月1日から取り払われ、どの子どもも無料で医療が受けられるようになりました。

乳幼児医療費助成制度は、吉田区政の時に大きく改善がすすめられ、所得制限撤廃も毎年計画的に年齢を引き上げて、4年前には実現する予定でした。この流れを止めてしまったのが鈴木区長と自民党、公明党でした。（表参照）

日本共産党は、子育てするお母さんなどの切実な声や運動と結んで毎議会ごとに取り上げ、条例案や予算修正案を示してねばり強く実現をせまりました。さらに、日本共産党は小学校低学年まで対象を広げ、当面、入院の医療費助成を求めています。

乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃に対する各党の態度

○＝賛成 ×＝反対 △＝継続

日本共産党の提案と区民の請願・陳情	共産	自民	公明	民主
2000年3月撤廃を求める予算修正案	○	×	×	×
2000年12月撤廃を求める意見書案	○	×	×	△
2001年3月撤廃を求める予算修正案	○	×	×	×
2001年9月撤廃する条例提案	○	△	△	○
2002年3月撤廃を求める予算修正案	○	×	×	×
2002年9月即時実施を求める請願	○	×	×	○
2002年9月段階的实施を求める陳情	○	○	○	○

特別養護老人ホーム・ショートステイが増えます。

「入所を2年以上も待っている」など待機者は年々増加しています。「希望する日にショートステイを利用できない」との声も強まっています。吉田区政の時に3カ所の特別養護老人ホーム建設が実現しましたが、その後の建設はすすん

でいせんでした。日本共産党は区民の切実な要望をもとに介護保険制度の改善や施設建設を一貫して求めてきました。みなさんの署名運動がみのり、いよいよ上沼田に150床、扇に96床の特別養護老人ホームが実現します。

河川敷の駐車場有料化ストップ

荒川河川敷のグラウンドは野球チームなど多くの区民が利用しており、駐車場は欠かせません。ところが、鈴木区長は無料だった駐車場を2時間500円にする条例を提案したのです。日本共産党は野球チーム役員からの声をもとに「有料化は認められない」とがんばり、自民・公明・民主党を動かしました。その結果、与党は有料化の部分を削除する修正案を提出、全会一致で可決されました。

利用者から「よかった。ありがとう！」の喜びの声が寄せられています。



その他実現した主なもの

- ☆学童保育室5カ所増設
- ☆商店街装飾街路灯電気代補助3分の2から4分の3に増額
- ☆2006年度までに全小中学校に特別講師を配置
- ☆2007年に障害者入所施設が開設計定



2004年第1回定例区議会報告

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.cpi-media.co.jp/adachi/

やる気になれば 区民のくらしを支える 財源はあります

日本共産党が 予算組みかえを提案

区の予算は2100億円余
(一般会計)

20億円うごかせば
できます

日本共産党は「住民福祉の増進」という自治体本来の役割を発揮させるため「予算組みかえ」を財源も明らかにして提案しました。生存権を守り、福祉と産業対策を重視した区民に明るい未来を示すものです。

2004年度予算組みかえの主なもの

小・中学校普通教室にクーラー設置	4億500万円	5カ年計画で全ての学校の普通教室にクーラー設置する
生活習慣病予防健診の拡充	2億3,378万円	対象者全員に通知し、受診者を増やす
少人数学級実施	3,400万円	当面35人学級の準備として10月から講師を配置する
東綾瀬アイススケート場の復活	3,144万円	設備は使用可能であり施設管理委託費など
緊急生活支援制度の創設	7,500万円	今ある貸付制度が受けられない人に生活維持費を貸付ける制度
高齢者激励見舞金の給付	5億2,800万円	介護度4、5の区民に対し見舞金を支給する

予算組みかえの財源対策(主なもの)

区議会議員報酬等の10%削減	3,950万円
シアター1010の管理・運営費の減額	1億1,500万円
基金(積立金)取り崩し	15億3,094万円

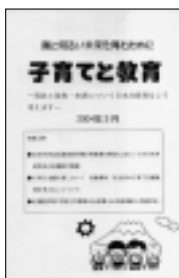
その他 不要不急事業の見直し、削減

子育て施策が
焦点となっています

「子育てと教育のパンフレット」をつくりました

保育園に入園を希望しても入れない人が増えています。日本共産党は子育て支援の求めともなっている認可保育園の増設を粘り強く求め、西新井や東綾瀬に誘致する方向となりました。また、保育料の値上げを示唆する「子育て支援サービス利用者負担適正化審議会」設置条例に反対しました。

誰もが安心して子育てが行なえる施策が必要です。日本共産党は、そうした立場から①区の「次世代育成支援地域行動計画素案の策定」に対する提案②保育料の値上げをねらう「子育て支援施策を考える討論素材」に対する見解③「学校二学期制」について、全校導入は当面凍結し再検討を求める提案の三つの文書をまとめたパンフレットを作成しました。ぜひ一読ください。ご希望の方はパンフレットを差し上げます。なお、区議会ホームページにも掲載しています。



(株)アーツ・コミュニティ・足立区文化芸術劇場の運営会社 には10億円、さらに、毎年5億円余もつぎ込むのに

区民や子どもたちの楽しみを削って…「株式会社」には不透明な財政支出

生きがい奨励金 (5000円→4000円) …7900万円削減

塩原自然教室の中止 …3790万円削減

塩原林間学園の廃止 …5547万円削減

伊豆高原あだち荘の廃止・売却 …6416万円削減

年12回の障害者日曜教室を半減 …106万円削減

社会教育団体の施設使用料半額措置の廃止 …490万円の区民負担増

高齢者のためのお風呂8カ所全部廃止
千住東、五反野、大谷田、佐野、入谷、加賀の各住区センター及び千住と西部の児童館老人館

「何とかしてください」の

区民の願いにこたえて

「(仮称)緊急生活支援制度」を提案

日本共産党は、不安定な経済状況の下で「収入が減って家賃も払えない」「子どもの高校入学が決まったのに支度金が足りない」「生活保護も受けられない」と困っている、いまある貸付金などが受けられない区民を救済するために緊急、臨時的に生活を支援する貸付制度を提案しました。

住宅リフォーム助成を提案

これは良好な住宅形成とともに地元建設業者の仕事確保につなげるために日本共産党は、区の住宅改良助成事業を拡充するとともに、①リフォーム費



旧庁舎跡地利用計画

やっぱり 企業 総合商事 いいなり

(仮称) あだち新産業振興センターの建設は事業計画もあいまいなまま3月末に着工しました。日本共産党は、建設にあたって区内業者の参入ができるように要求。区は、基本協定に基づき総合商事に要請していると答えていました。ところが、総合商事は、区との「基本協定」を無視し、ゼ

「共産党が光った議会(町会役員)予算の組み替えや修正は予算書のすべてを分析しなければできないことはない。議会の質問も、的をのべている。共産党の議員はよく勉強している。」

ネコン大手各社と工事契約を締結。結局、区内業者は下請けか、孫請けです。また、事業プロポーザル(企業提案方式)で、区が最優秀案と決定した事業計画は、ホールの位置を変更し商業床を拡大、これに批判がでると二階に黒沢明スタジオの導入、今度は「黒沢明シネマシティ」として二階と三階に広げると、次々に計画が変更されています。さらに「ハローワーク足立」が入るとの動きもあります。「地元建設企業に仕事もこない」「事業計画を大幅に変更するのは、なんのために事業プロポーザルだったのか」と批判の声があがっています。

小泉構造改革の補助金カットで 足立区政も大きな影響

1800人

こんなに待っている人がいるのに、
特養ホーム建設計画4ヶ所が2ヶ所に

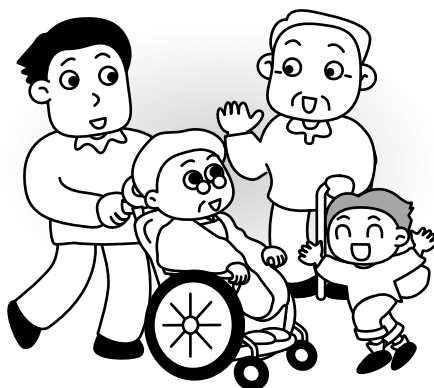
特養ホームは、要望の強い施設で待機者が増えつづけ1800人となっています。足立区では2007年度までに1674床に増設する計画で、本年度は南花畑、東保木間、扇、上沼田の4ヶ所の建設申請をしています。

ところが厚生労働省は、昨年12月突然特養ホーム建設費補助の3割カットなどの「国庫補助」削減を行なってきました。そのため、南花畑、東保木間の2ヶ所が認められなくなりました。計画をすすめていた社会福祉法人は、五百万から一千万円かけて協定書をつくり、住民説明会を行い、都の審査も通っていたのに中止されたのです。

わが党は、国の補助金カットを厳しく批判し、区としても必要な対策をとるよう強く求めました。

国の補助金カットは 区民の暮らし脅かす

自民・公明政権は「三位一体改革」と称して4兆円もの補助金削減を行なうとしており、今年度は公立保育園運営費と介護保険事務費が全額カットされ、来年度は生活保護費の補助削減が狙われています。今後、区民生活に大きな影響を及ぼすことは避けられません。



最低保障年金をもちこんだ年金政策を発表する
小池晃参議院議員(写真右)(04.3.31)



自衛隊のイラク撤退を求め行進する
今村順一郎さん(04.3.20)

あきれた公明党の年金意見書取り下げ

公明党は国会で、自民党とともに年金の大改悪を強行しようとしています。

足立区議会でも区民からだされた「年金改悪に反対する意見書を提出して欲しい」という請願の審議で質疑もしないで継続にしてしまい区民の願いに背を向けてきました。

その公明党が基礎年金の国庫負担割合を早急に2分の1に引き上げるなど、区民の請願の内容を含む意見書を提案してきました。

ところが公明党は、全会派一致の方向になったのに自ら出した意見書を取り下げてしまいました。

「ホテルつくれ」と大合唱の自民党

予算委員会では自民党議員が口ぐちに「ホテル(宿泊施設)は必要」「今から用地の確保やビジョンを明確にせよ」「21人の自民党が一致して要求していることだ」と質問の大合唱でした。

ホテル計画は吉田元区長が公約どおり区民の願いに沿って撤回したもの。傍聴した区民から「自民党はもう忘れたのか、ホテルつくれとは、とんでもない」と怒る声。

世界の流れに逆行し、イラクへの 自衛隊派兵を容認する区長

いまスペインなど各国でイラクからの撤兵する動きが広がっています。自衛隊のイラク派兵は明らかに憲法違反ですが、政府は世界の流れに反し、日本人三人が人質にされたあと、新たな事件が起きても、政府は自衛隊の撤退は考えないと強硬です。

日本共産党は鈴木区長に「憲法9条を守る立場か、それとも憲法改正をやむを得ないと考えているのか」と質問しました。

区長は「自衛隊の派遣は人道・復興支援であり、戦争に負担するものではない、憲法9条に直接関係ない」と世界の流れに逆行する姿勢を示しました。

年金改悪、消費税増税、憲法改悪……
いま悪政にたちむかう力日本共産党